

同和問題とは、 どういう問題でしょうか？

同和地区といわれた場所や、一部の職業に対する根拠のない固定観念や偏見が、今なお残っています。同和問題の解決には、まず一人ひとりが、同和問題に対する正しい知識・理解を持つことが必要です。





固定観念や偏見はありませんか？

かつて同和地区と呼ばれた地域や特定の職業に対して、根拠のない固定観念や偏見を持っている方がいます。こういった偏見などが同和問題の解決を遅らせた原因の一つにもなっています。

偏見を持たないためには、どうすればよいのでしょうか？

同和問題は、小さなこどものうちに、家族や身近な人などから聞かされた偏見によってつくられたものが多いといわれています。また、最近ではインターネット上にも根拠のない情報が多く流れています。うわさなどを安易に受け入れるのではなく、「ちゃんとした根拠があるのだろうか」と考えてみるのが大切です。

同和問題とはどういう問題でしょうか？

日本の歴史の中でつくられた身分差別により、一部の人々が、長い間経済的・社会的・文化的に低い状態におかれ、生活するうえで差別されることを強いられてきたわが国固有の人権問題です。

差別された人々は、様々な面で生活に支障をきたすことが少なくありませんでした。

この問題の解決を図るため、昭和40（1965）年8月に出された「同和对策審議会答申」に基づき取り組みがなされました。

神戸市でも、昭和48（1973）年8月に「神

戸市同和对策事業長期計画」を策定し、住宅建設や道路・上下水道整備など様々な取り組みを行ってきました。

その結果、生活環境をはじめとする、物的な基盤整備等の特別な対策が終了し、様々な面で存在していた格差は大きく改善されました。

一方、差別意識も着実に解消されつつありますが、なお残存しており、今後は、この解消に向けた人権教育・啓発の取り組みが重要となっています。

また、このような同和問題（部落差別）のない社会を実現することを目的として、平成28（2016）年12月「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されています。

